

Ciné-là

NEWS

VOL.333

シネラ・ニュース

Fukuoka City
Public Library
Movie Hall
Ciné-là

12

December, 2025

【通年上映】

午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス

【企画上映】

PFFアワード2025福岡上映& アジアのニューウェーブ 第1期:韓国 ウカマウ集団60年の全軌跡:21世紀編

女性ゲリラ、フアナの闘いーボリビア独立秘史ー

【料金】 〈ウカマウ集団60年の全軌跡:21世紀編〉 一般=1,400円/学生(大学生・高校生・中学生・小学生)および各種割引=700円

※以下の方が割引となります(要証明書・会員証原本提示)。①福岡市在住の65歳以上の方/②「わたすクラブ」会員/③障がい者の方および介護者の方1名

〈PFFアワード2025福岡上映〉 大人=600円/大学生・高校生=500円/中学生・小学生=400円

福岡市在住の65歳以上の方/「わたすクラブ」会員/障がい者の方および介護者の方1名=300円(要証明書・会員証原本提示)

〈アジアのニューウェーブ 第1期:韓国〉〈午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス〉

大人=500円/大学生・高校生=400円/中学生・小学生=300円

福岡市在住の65歳以上の方/「わたすクラブ」会員=250円(要証明書・会員証原本提示)/障がい者の方および介護者の方1名=無料(要証明書提示)

□ 定員(242席+車椅子席4席)・各回入替制/当日券のみ・各回上映の1時間前から販売(上映開始の30分後まで)

fiaf

【国際フィルムアーカイブ連盟】
FIAFは映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

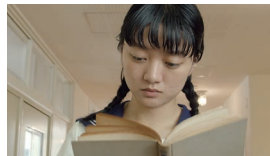
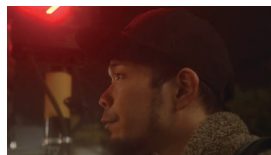
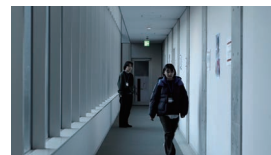
PFFアワード2025福岡上映&アジア

PFFアワード2025

企画協力：一般社団法人PFF

(8プログラム・21作品／すべてデジタル上映／東京・京都会場上映プログラムと一部異なります)

★＝ゲスト来場!上映後トークイベント (20分予定/敬称略/登壇者は予告なく変更になる場合があります)

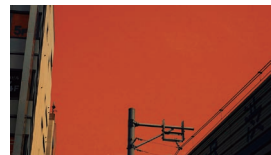
12月7日[日] 11:00 **Dプログラム** 登壇: 庄司 皓 (「Caravan」監督)12月7日[日] 14:00 **Eプログラム** 登壇: 田辺洸成 (「傷ついた天使」監督/福岡出身)、大田 健 (「傷ついた天使」プロデューサー、出演)12月13日[土] 17:00 **Gプログラム** 登壇: 直林水穂 (「名前をつけるのは、これから」監督/福岡出身)12月14日[日] 11:00 **Hプログラム** 登壇: 笠原崇志 (「人生はいつだってHARDだ」監督)**A+Bプログラム** (3作品・114分)**BRAND NEW LOVE**コーヒーカップが織りなす恋愛模様
84分/カラー 監督: 岩倉龍一**僕はガタロウ**認めてくれる人がいれば、「好き」を続けられる
18分/カラー 監督: 久保地穂乃**宮沢さんは剥がさせないっ!**大好きなあの娘のことをもっと知りたい!
12分/カラー 監督: 金澤誠人6 [土]
14:00**Cプログラム** (2作品・131分)**PEAK END**今度さ、宇宙にジャムサンド飛ばさない?
120分/カラー 監督: シン・チェリン**あの頃**少年と泥団子と将来の夢
11分/カラー 監督: 戸田遼太6 [土]
17:00**Dプログラム** (2作品・91分)**Caravan**多幸感が溢れる男4人の卒業旅行
59分/カラー 監督: 庄司皓**黄色いシミ**ワンカットで撮影された狂気の沙汰
32分/カラー 監督: 野村一瑛7 [日]
11:00**Fプログラム** (3作品・113分)**惑星イノウエ**摩訶不思議な人形劇が織り成す現代社会
54分/カラー 監督: 鈴木大智**マイ スモール ワールド**少女たちの瑞々しい“小さな一歩”
11分/カラー 監督: 丸岡優月**ノイズの住人**“創作×お金×才能”映画制作のリアル
48分/カラー 監督: アンドレス・マドルエニョ13 [土]
14:00**Eプログラム** (2作品・116分)**傷ついた天使**青年が巡る、奇妙なロードムービー
96分/カラー 監督: 田辺洸成**アンダー・マイ・スキン**ただひたすらに愛を叫ぶ少女の物語
20分/カラー 監督: 細川巧晴7 [日]
14:00**Gプログラム** (3作品・100分)**名前をつけるのは、これから**新たな生命の誕生に伴う戸惑いと責任
39分/カラー 監督: 直林水穂**カクレミノ**イマジナリーフレンド? 側にいるよ
35分/カラー 監督: 澤田晴**CROSS-TALK**氾濫から見極める大切なもの
26分/カラー 監督: 原田捷13 [土]
17:00**荒木啓子氏(あらき・けいこ / PFF総合ディレクター)による****上映前の作品解説** (各回10分程度)
(いずれも映画上映とセットでご鑑賞いただけます)12月6日[土] 14:00 **A+Bプログラム** / 17:00 **Cプログラム**12月7日[日] 11:00 **Dプログラム** / 14:00 **Eプログラム****クラシックズ**収集作品から日本とアジアの選りすぐりの
古典映画や名作を木曜・金曜・土曜に連続して上映します(不定期)。

25 [木] 11:00 26 [金] 11:00 27 [土] 11:00

キルソドム

Gilsodrom

上流階級の主婦ファヨンは、あるテレビ放送をきっかけに、朝鮮戦争で生き別れとなった息子を探すため、故郷の村キルソドムに赴く。その息子探しの過程で、過去はもはや取り返せないことを知る。南北分断・家族離散をテーマとした作品で、韓国映画の巨匠イム・グォンテクの代表作のひとつである。1985年大鐘賞作品賞・主演女優賞・音楽賞・美術賞を受賞した。

1985/韓国/カラー/101分/35ミリフィルム上映/日本語字幕付き
監督: イム・グォンテク 出演: キム・ジミ、シン・ソニル**Hプログラム** (3作品・111分)**屈折の行方**過去への贖罪が行き着く先にあるもの
66分/カラー 監督: 鴨林諄宜**ロ-16号棟**とある団地でのボーイミーツガール
11分/カラー 監督: 井上優衣14 [日]
11:00**人生はいつだってHARDだ**倦怠感に塗れた日常の中からの逃避行
34分/カラー 監督: 笠原崇志**Iプログラム** (3作品・101分)**空回りする直美**困難を笑い飛ばす力強さとヒップホップ
44分/カラー 監督: 中里ふく**ワンダリング・メモリア**「記憶」と「場所」と「幽霊」と。
18分/カラー 監督: 金内健樹**紅の空**赤い空の下で抗う高校生の憂鬱
39分/カラー 監督: 瀬川翔14 [日]
14:00

のニューウェーブ | 第1期:韓国

12月4日[木]~12月7日[日]
12月10日[水]~12月14日[日]
12月17日[水]~12月20日[土]

新しい才能の登竜門・PFFアワード2025入選作品(入選監督 最年少16歳・最年長35歳/平均23.8歳)上映に合わせ、映画のあり方を根本から変え、アジア映画にも波及したニューウェーブを特集。1980年代韓国に起きた「新しい波」と2025年の「新しい波」を同時に見つめる。

アジアのニューウェーブ 第1期:韓国

(9作品/すべて福岡市総合図書館収蔵作品/ 35ミリフィルム上映/日本語字幕付き)

◎韓国ニューウェーブの源流

馬鹿たちの行進

The March of the Fools



ピョンテとヨンチョルは大学生。二人は合コンで女学生のヨンジャ、ヨンスクと仲良くなる。ピョンテはヨンジャと、ヨンチョルはヨンスクと付き合うがうまくいかない。閉塞した社会状況での学生たちの無軌道なバカ騒ぎを描いた作品で、1970年代を代表する作品。当時の若者たちから熱狂的に支持された(馬鹿シリーズ)第1作。

1975/韓国/カラー/101分
監督:ハ・ギルジョン 原作:脚本:チェ・イノ 出演:ユン・ムンソプ、ハ・ジェヨン

◎監督イ・チャンホ(イ・ジャンホ)

馬鹿宣言

Declaration of Idiot



1980年代韓国映画屈指の作品。ドンチョルは女子大生のヘヨンに一目ぼれ。仲間ユントクと一緒にヘヨンを誘拐するのだが、実は彼女は娼婦だった。二人は娼婦街で雑用係として働き、新人の娼婦を足拔けさせようとして失敗、追

い出されてしまう。当初、映画が検閲を通過できず、即興演出を施して作りなおした。荒唐無稽な構成が、かえって世界の映画祭で大評判となった。

1983/韓国/カラー/92分

監督:イ・チャンホ 出演:イ・ボヒ、キム・ミョンゴン

◎監督ペ・チャンホ + 脚本チェ・イノ

鯨とり—コレサニャン—

The Whale Hunter



何の取り柄もない大学生ピョンテは、街で女にだまされ警官に捕まるところを、「親分」と言われる浮浪者に助けられる。二人は虐待を受ける売春婦チュンジャを助け出し、故郷へ連れて行くとする。この年の最大のヒット作となった本作は、韓国映画史に欠かせない名作であり、「親分」を演じるアン・ソンギの躍動感溢れる演技は卓抜。

1984/韓国/カラー/111分

監督:ペ・チャンホ 原作:脚本:チェ・イノ 出演:アン・ソンギ、キム・スチョル

◎監督イ・チャンホ(イ・ジャンホ)

風吹く良き日

Good Windy Days



中華料理屋の出前持ちのトッペ、ホテルのボーイのキルナム、理髪店の雑用係のチュンシク、3人は田舎からソウルに出てきて出会い、夜になると一緒に酒を飲んで憂鬱をはらす友人となる。都会で一旗揚げようとする3人の若者

のナイーブな青春群像で、愛すべき青春映画の傑作である。トッペ役のアン・ソンギは子役から脱皮し、本作以降韓国映画を代表する俳優になる。

1980/韓国/カラー/117分

監督:イ・チャンホ 出演:アン・ソンギ、イ・ヨンホ

◎監督イ・チャンホ(イ・ジャンホ)

旅人は休まない

The Man with Three Coffins



放浪の旅を続けるスンはまるで黄泉の国をさまよっているようである。1987年東京国際映画祭で国際批評家賞を受賞。

1987/韓国/カラー/105分

監督:イ・チャンホ 出演:イ・ボヒ、キム・ミョンゴン

◎監督ペ・チャンホ + 脚本チェ・イノ

ディープ・ブルー・ナイト

Deep Blue Night



アメリカに密入国したベクは、LAに住むジェーンと偽装結婚をして永住権を取得しようとする。ベクは永住権を取得した後は韓国から恋人を呼ぶつもりだった。ところがジェーンは次第にベクのことを好きになっていく。それまでの韓国映画にはない多額の予算で、全編アメリカでロケされた最初の韓国映画。興行的にも大ヒットし、韓国国内の映画賞では作品賞や監督賞など主要な賞を独占した。

1984/韓国/カラー/110分

監督:ペ・チャンホ 原作:脚本:チェ・イノ 出演:アン・ソンギ、チャン・ミヒ

◎監督イ・チャンホ(イ・ジャンホ)

寡婦の舞

Widow's Dance



日本人の恋人に捨てられたヒロインのマルスクは、結婚詐欺で逮捕され、子連れの男と結婚するが、今度はインチキ宗教にだまされてしまう。1980年代の韓国を象徴するイ・チャンホ監督の傑作。ヒロインのイ・ボヒは、イ・

1983/韓国/カラー/109分

監督:イ・チャンホ 出演:イ・ボヒ、パク・ウンスク

◎監督ペ・チャンホ + 脚本チェ・イノ

赤道の花

A Tropical Flower



ある青年が向かいのマンションに住む美しい女性に一目惚れする。青年は毎日彼女をのぞき見るうち、彼女が会社社長の愛人であることを知る。青年は彼女を不幸な境遇から救いだそうとする。ヒッチコック「裏窓」を想起

させるサスペンス映画、疎外された都会人の孤独をテーマにしている。

1983/韓国/カラー/104分

監督:ペ・チャンホ 原作:脚色:チェ・イノ 出演:アン・ソンギ、チャン・ミヒ

◎監督ペ・チャンホ + 脚本チェ・イノ

黄真伊(ファン・ジニ)

Hwang Jin-yi



ジニは名家の娘だが、結婚後家が没落する。ジニはいつか評判の妓生(きしょう)になっていた。ある日彼女は政敵に追われる学者と出会う。ジニは彼を助けようと一緒に旅にでるのだが、流浪の旅の中で次第に彼女は病んでいく。人気監督となったペ・チャンホが芸術的完成度を求めて作成した映画。李朝時代に実在した妓生・ジニの生涯を、溝口健二の映画を参考にして格調高く描き出す。

1986/韓国/カラー/119分

監督:ペ・チャンホ 脚本:チェ・イノ 出演:チャン・ミヒ、チョン・ムソン

企画
上映

ボリビア独立200周年・日本との協働50周年記念

12月21日[日]、12月24日[水]~27日[土]

ウカマウ集団60年の全軌跡:21世紀編

アンデス地域の先住民の視点に立った映画づくりで、世界に衝撃を与えたボリビアの映画集団ウカマウの軌跡を展観する。

◎配給:シネマテーク・インディアス/ 配給協力:スタンス・カンパニー、ムヴィオラ
◎すべてボリビア(ウカマウ集団)/ホルヘ・サンヒネス監督作品/デジタル上映/日本語字幕付き

太田昌国氏(シネマテーク・インディアス)講演

12月21日[日] 14:00

「女性ゲリラ、フアナの闘い—ボリビア独立秘史—」

上映後(15:45-16:45)/講演は入場無料

太田昌国(おおた・まさくに) 1943年生まれ。編集者、評論家、民族問題研究者。1960年代から70年代にかけてのラテンアメリカにおける政治的・社会的・文化的な胎動に刺激を受け、現地を旅し、1975年にウカマウ集団の監督ホルヘ・サンヒネス、プロデューサーのベアトリス・バラシオスと出会う。ウカマウ集団と半世紀にわたる歴史をまとめた著書「ボリビア・ウカマウ映画伴走50年」を2025年に上梓した。



30年後 —ふたりのボリビア兵—

Los Viejos Soldados



ボリビア現代史の重要な事件・チャコ戦争(隣国パラグアイとの間で1932年から35年にかけて戦われた)で、同じボリビア軍に属していた白人で裕福な家庭出身のギェレルモとアイマラ人で貧賤のセバ스티アン。ギェレルモが、負傷したセバスティアンを救ったことから、ふたりの間には友情が育まれる。しかし、やがて二人は真逆の方向の道を進んでゆく。

2022/カラー/105分 音楽:セルヒオ・ブルデンシオ
出演:クリスティアン・メルカード、ロベルト・チョクワンカ

21[日] 11:00
26[金] 14:00

叛乱者たち

Insurgentes



21世紀の革命の映画を模索した。2013年国際政治映画祭第一位(ブエノスアイレス)ほか受賞。

2012/カラー/83分
音楽:セルヒオ・ブルデンシオ 出演:ルカス・アチリコ、レイナルド・ユフラ

24[水] 14:00

女性ゲリラ、フアナの 闘い—ボリビア独立秘史—

Guerrillera de la Patria Grande, Juana Azurduy



解放闘争を担った実在の女性、フアナ・アスルドゥイ(1780-1862)。独立を宣言した1825年、フアナの質素な住まいを、「解放者」シモン・ボリーバルと、初代大統領となるアントニオ・ホセ・デ・スクレが訪ねてくる。スペイン支配から

ようやく独立宣言をした新しい共和国樹立の記念式典だというのに、フアナが一向に姿を見えないからだ。フアナは、なぜ祝おうとしないのだろうか。

2016/カラー/103分 音楽:セルヒオ・ブルデンシオ

出演:メルセデス・ビティ・カンボス、クリスティアン・メルカード

最後の庭の息子たち

Los Hijos del Ultimo Jardín



ウカマウ集団が、初めて都会の青年たちを題材に撮りあげた青春群像劇。

2003/カラー/97分
音楽:オスカル・ガルシア 出演:ビクトル・サリナス、アレハンドロ・サラテ

25[木] 14:00

1 [月]	休 館 日		
2 [火]	休 館 日		
3 [水]	休 映 日		
4 [木]	11:00 ○馬鹿たちの行進	14:00 ○風吹く良き日	
5 [金]	11:00 ○寡婦の舞	14:00 ○馬鹿宣言	
6 [土]	11:00 ○赤道の花	14:00 ●PFFアワード2025 A+Bプログラム +各回上映前に荒木啓子氏による作品解説あり	17:00 ●PFFアワード2025 Cプログラム
7 [日]	11:00 ●PFFアワード2025 Dプログラム +上映後ゲストトーク	14:00 ●PFFアワード2025 Eプログラム +上映後ゲストトーク	+D、Eプログラムの 上映前に荒木啓子氏に よる作品解説あり
8 [月]	休 館 日		
9 [火]	休 映 日		
10 [水]		14:00 ○旅人は休まない	
11 [木]	11:00 ○鯨とりーコレサニャンー	14:00 ○赤道の花	
12 [金]	11:00 ○ディープ・ブルー・ナイト	14:00 ○黄真伊(ファン・ジニ)	
13 [土]	11:00 ○馬鹿たちの行進	14:00 ●PFFアワード2025 Fプログラム	17:00 ●PFFアワード2025 Gプログラム +上映後ゲストトーク
14 [日]	11:00 ●PFFアワード2025 Hプログラム +上映後ゲストトーク	14:00 ●PFFアワード2025 Iプログラム	
15 [月]	休 館 日		
16 [火]	休 映 日		
17 [水]		14:00 ○寡婦の舞	
18 [木]	11:00 ○旅人は休まない	14:00 ○ディープ・ブルー・ナイト	
19 [金]	11:00 ○黄真伊(ファン・ジニ)	14:00 ○鯨とりーコレサニャンー	
20 [土]	11:00 ○馬鹿宣言	14:00 ○風吹く良き日	
21 [日]	11:00 ◆30年後 ーふたりのボリビア兵ー	14:00 ◆女性ゲリラ、ファナの闘いーボリビア独立秘史ー +太田昌国氏トーク	
22 [月]	休 館 日		
23 [火]	休 映 日		
24 [水]		14:00 ◆叛乱者たち	
25 [木]	11:00 ☆キルソドム	14:00 ◆最後の庭の息子たち	
26 [金]	11:00 ☆キルソドム	14:00 ◆30年後ーふたりのボリビア兵ー	
27 [土]	11:00 ☆キルソドム	14:00 ◆女性ゲリラ、ファナの闘いーボリビア独立秘史ー	
28 [日]	休 館 日		
29 [月]	休 館 日		
30 [火]	休 館 日		
31 [水]	休 館 日		

- =[企画上映] PFFアワード2025福岡上映
- =[企画上映] アジアのニューウェーブ 第1期:韓国
- ◆=[企画上映] ウカマウ集団60年の全軌跡:21世紀編
- ☆=[通年上映] 午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス

[1月のシネラ上映予告]

- 内田吐夢と山下耕作 日本映画量産期の洗練について
- 小田香:地下世界と

[INFORMATION]

映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラは自主上映(非営利に限る)を希望される方について、下記のとおり申し込みの受付を行います。

- 利用申込対象期間**|| 2026年6月～11月 ※別途配布の申込用紙に対象日を記載しています
- 申込受付期間**|| 11月16日[日]～12月12日[金] ※休館日除く
- 抽選日**|| 12月20日[土] 午前11時より
- 抽選会場**|| 福岡市総合図書館3階 第2研究室
- 利用申込書**|| 福岡市総合図書館で11月16日から配布する申込用紙をお出ください。

Column

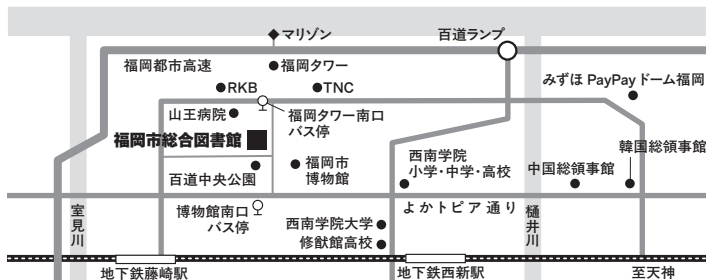
11月から12月にかけて、たくさんの韓国映画を上映します。11月には韓国のアート系の映画館協会が選ぶ日本未公開作品の上映、〈韓国映像資料院〉が修復した1950年代の傑作群を上映します。12月には、1980年代を中心に韓国のニューウェーブ作品を特集上映します。これだけの韓国映画を一举にスクリーンにかけられる機会は当分ないと思います。

韓国のカルチャーは日常に浸透しています。釜山もソウルも、飛行機に乗れば東京よりも近い。でも、韓国の「ちょっと昔」のことは、あまりよく知らないのではないのでしょうか。

新しい才能の登竜門PFF(びあフィルムフェスティバル)との共同企画として、収蔵作品のなかから〈アジアのニューウェーブ〉作品をリサーチし始めました。フランスで起きたヌーベルバーグ=ニューウェーブの影響は、10-20年ぐらいの時間をかけてじっくりと、アジアの各国から出てくる才能に影響を与えていました。19世紀末に発明された、技術としての映画は、20世紀になる頃には世界各地にあっていう間に広がっていきました。それに比べて、ニューウェーブは、アジアに伝わるのにはだいぶ時間がかかっている。それは、当時外国映画が自由に見られる環境が、あまりなかったことが要因のひとつといえると思います。アジアには、権威主義的な政治体制があちこちにありました。いろいろな壁を超えて、韓国は、1980年代が、ようやく波が届いた時代でした。

1960年代、フランスのヌーベルバーグと同時期、南米ボリビアで活動を開始したウカマウ集団は、先住民の目線に立った映画制作を貫いています。ヌーベルバーグの代表的作家ゴダールは、ウカマウ集団を高く評価し、共感を示しています。ニューウェーブは、ただ何か真新しい映画作りを標ぼうしたのではなく、凝り固まった既存の映画制作に対しての若い世代からの反発でもあり、そこには社会や権威に対する異議申し立てとも深く繋がっています。ニューウェーブは、オルタナティブな映画のあり方として、世界中に根を下ろし、現代の映画にも脈々と繋がっています。

(学芸員・杉原)



[交通アクセス]
当館の駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。**市営地下鉄**／西新駅または藤崎駅下車徒歩15分 **西鉄バス**・博多駅、天神、西新から福岡タワー南口または博物館南口下車徒歩5分・藤崎駅から福岡タワー南口下車徒歩5分 ◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時刻、お近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話:050-3616-2150)へお問い合わせください。

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-la
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
(代表) TEL: 092-852-0600 | FAX: 092-852-0609

うえぶシネラ＝<http://www.cinela.com> ⇒